



福井の冬を描いた文学



福井の冬の風物詩をテーマにした特集です。「越前和紙」「雪」「水仙」「水ようかん」「越前がに」の五つをキーワードに、福井ゆかりの文学作品を集めました。

期間：2019年12月20日（金）～2020年3月25日（水）

項番	作家名	種別	資料名	発行年	発行者
越前和紙					
1	牧田雨煙樹	自筆資料	色紙	—	(期間:2/11～3/25)
2	水上勉	書籍	『弥陀の舞』	1969年	朝日新聞社
3	則武三雄	書籍	『紙漉く人』	1976年	北荘文庫
4	則武三雄	自筆資料 (複製)	色紙	—	—
5	津村節子	書籍	『桜遍路』	2008年	河出書房新社
6	林望	書籍	『私の好きな日本』	2001年	JAFMATE社
雪					
7	高見順	書籍	『死の淵より』	1964年	講談社
8	杉本苑子	書籍	『散華』	1991年	中央公論社
9	吉村昭	自筆資料 (複製)	「雪の花」原稿	—	—
10	石川九楊	自筆資料	書「ここにかく日野の杉むら埋む雪…」	—	(期間:12/20～2/9)
11	正津勉	書籍	『暦物語』	1989年	思潮社
12	藤岡陽子	書籍	『おしよりん』	2016年	ポプラ社
13	藤岡陽子	自筆資料	色紙	—	—
水仙					
14	安西水丸	書籍	『ニッポン・あっちこっち』	1999年	家の光協会
15	俵万智	書籍	『かぜのてのひら』	1991年	河出書房新社
16	乃南アサ	書籍	『行きつ戻りつ』	2002年	文化出版局
水ようかん					
17	荒川洋治	書籍	『夜のある町で』	1998年	みすず書房
18	宮下奈都	書籍	『とりあえずウミガメのスープを仕込もう。』	2018年	扶桑社
越前がに					
19	吉村昭	書籍	『精神的季節』	1972年	講談社
20	永六輔	書籍	『妻一人娘二人猫五匹』	1977年	中央公論社
21	植松三十里	書籍	『おばさん四十八歳小説家になりました』	2013年	東京堂出版